

地域の防災意識を高めよう！～in 防災フェア～Mutual Assistance Project

1. 企画概要

- 簡易防災グッズの作成・強度検証
- 市販の防災グッズの性能比較
- 防災運動会の開催

最近地震など災害が多発しており、多大な被害を及ぼしているのです。私たちの活動によって、災害が起こった際少しでも被害を軽減するための知識を防災運動会にて、地域の方々に伝える。

2. 活動内容

2-1 簡易防災グッズの作成・強度検証

(1) . ラップで作成した縄

ラップを細くねじったものを3本用意し、三つ編みにした。その結果ものを括り付けるのに十分な強度になった。またこの縄を避難所で遊具（縄跳び）として利用することで子供たちのストレスを軽減する効果も期待される。



(2) . 簡易担架

物干し竿とラップまたは毛布を用いて作成した。どちらも成人男性（約 60kg）を運ぶのに十分な強度であった。ただし作成時間に大きな差があった。（ラップ：約 2分 毛布：約 15 秒）



(3) . 簡易ベッド

人が何度も起き上がったりすると負担があるが寝るために利用するには十分な強度であった。また毛布を敷くことで体への負担も軽減される。



(4) . 新聞紙スリッパ

簡単に作成することができ、室内を歩くには十分な強度であった。また防寒対策としても利用できる。



2-2 防災運動会

- 日時：12月16日



- 場所：鶴記念体育館
- 種目
 - 担架リレー
 - 借り物競争
 - ラップで大縄
 - 玉入れ
 - 担架リレー

事前に地域の小学校にチラシを配布し参加者を募り当日は約 20 名が参加した。検証結果をもとに運動会という形で開催することで「防災について勘違いの知識があって勉強になった。」「防災のことを楽しく学べるよい機会だった」などの声をいただいた。

2-3 防災バッグの比較（3日避難用）

- 共通して入っているものとして、保存水、非常食、マスク、救急用品、軍手、レインコート、乾電池、ライトがあげられる。
- 乾電池が入っているが単三、単四など対応できるものが限られている。
- 避難時に必要と考えるタオルが今回比較した3社に入っていなかった。
- 充電コードが入っているがガラパゴスケータイの充電器のみであったり改善が必要と考えた。
- この三社の比較からより軽量なものかつマスクなどの予防できるものが多く入っているものを選ぶことがよいと考える。



3. まとめ・反省等

【反省点】

- メンバーの人数が多いことから、全員へ役割を配分することが不十分であった。
- 防災バッグの発注が遅れてしまった。
- 検証が短期間となったため長期間で考えられる結果を得られなかった。

【良かった点】

- 防災運動会の開催によって緊急時に必要なものや日常的なもので簡易グッズが作成できることを知ってもらい防災意識を高めてもらうことができた。
- 検証結果をもとに新聞スリッパや簡易担架などが簡単に作成できることを地域の方々に伝えることができた。
- 当初考えていたもの（発泡スチロールなど）を使わずに予算を抑え、強度の十分なものを作成することができた。